

科 目	論理・表現 I	学年・類型	1年・普通科	単位数	2
教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Standard (数研出版)				
副教材等	アースライズ総合英語 (数研出版)				
学 習 目 標	1 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する。 2 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域の活動を通して、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。				
学 習 心 得	1 積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとすること。相手の言いたいことを理解しようとする姿勢を持つと同時に、自分の気持ちや考えを相手に伝えようとする意欲が必要である。 2 教科書の予習・復習をすること。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	Lesson 1	・英語の基本構造の確認をする。			
	Lesson 2	・既習の文法事項や構文を利用して、様々なテーマについて適切に英語で話したり、書いたりして表現する。			
	Lesson 3	・取り扱うテーマ			
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ●自己紹介 ●週末の過ごし方 ●旅行 ●道案内、謝罪 ●部活のイベント、後悔していること 			
	Lesson 5				
二 学 期	Lesson 6	・英語の基本構造の確認をする。			
	Lesson 7	・既習の文法事項や構文を利用して、様々なテーマについて適切に英語で話したり、書いたりして表現する。			
	Lesson 8	・取り扱うテーマ			
	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> ●日本文化 ●ボランティア活動 ●学校生活 ●環境問題 ●スポーツ ●さまざまな国の労働時間や祝日の数、野菜と果物の違い ●日本のノーベル賞受賞者、自分が尊敬する人物 			
	Lesson 10				
	Lesson 11				
	Lesson 12				
三 学 期	Lesson 13	・英語の基本構造の確認をする。			
	Lesson 14	・既習の文法事項や構文を利用して、様々なテーマについて適切に英語で話したり、書いたりして表現する。			
	Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱うテーマ ●歴史的な人物・建物 ●世界の国々 ●未来の自分 			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	学んだ知識を用いて、論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。	定期考査 授業中の取組 パフォーマンステスト
思考・判断・表現	場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、発言や情報に関する自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。	定期考査 ワークシートの課題
主体的に学習に取り組む態度	自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、発言や情報に関する自分の考えや気持ちなどを詳しく表現しようとしている。	授業中の取組 ワークシートの課題